



IP_STUDIOIV

簡単操作説明書

(オペレーション支援マニュアル)

v. 0.9



はじめに

IP STUDIO IVはデジタルサイネージで日本初のクラウドストレージ（オンラインストレージ）をシームレスに利用できるようにしたソフトウェアです。

フォルダー共有というシンプルな概念が世界中のコンピュータ利用者、スマホ利用者のコミュニケーションのありかた、ワークスタイルを変革しつつあります。

クラウドストレージテクノロジーによってマルチデバイス（PC、タブレット、スマホ）は勿論、クラウド対応の様々な機器（電子黒板、複合コピー機など）との連携もできます。

本ソフトウェアとデジタルサイネージをご利用することで「情報の見える化」「情報共有」をすすめてコミュニケーションを円滑にすることで働き方改革、ビジネススタイルの革新にお役立て下さい。

目 次

第1章	サーバー（クラウドストレージ）設定について	4
第2章	P_STUDIOIVの全体の流れ（ステップフロー）	5
第3章	IP_STUDIOIV起動とボタン説明	6
第4章	デザイナー設定（STEP1）	7
4.1	デザイン設定	8
4.2	スクリーンエディタを利用したイメージオブジェクト設定	11
4.3	トラック長の設定	13
4.4	編成設定（コンテンツの配置）	13
4.5	テロップ（流れる文字）「の挿入	15
4.6	デザイナーのプレビュー	16
4.7	スクリーンエディタから「ビューエディタ」の起動。	16
4.8	デザイナーの保存	16
第5章	コンテンツ スケジューラ 1日の放映スケジュールの作成（STEP2）	17
5.1	サービス時刻の設定	17
5.2	ターミナル電源設定	17
5.3	ターミナルボリューム設定	17
5.4	一日の番組編成（コンテンツスケジューラ）の設定	17
第6章	ターミナルスケジューラ設定（STEP3）	18
6.1	事前設定（メンテナンスで配信グループ設定）	18
6.2	スケジュール設定	18
6.3	ターミナル スケジューラーの保存	18
第7章	ファイルの転送（STEP4）	19
第8章	配信グループ・ターミナル登録	20
第9章	番組編成の変更・修正	21
9.1	デザイナー・コンテンツスケジューラ・ターミナルスケジューラを選択	21
9.2	コンテンツの入れ替え	21
第10章	端末監視機能	22
第11章	コンテンツの格納（保存）場所	23
第12章	デジタルサイネージの設定	24
第13章	日時の表示について	25
第14章	デジタルサイネージが複数台の設定	26
第15章	Q&A	27

第1章 サーバー（クラウドストレージ）設定について

IP_STUDIO IVのご利用には以下の設定が必要です。

1. クラウドストレージの設定

- ①スケジューラー（ホストPC側）でのご利用のクラウドストレージ設定
- ②ターミナル（サイネージ側）でのご利用クラウドストレージ設定

ご利用のクラウドストレージがある場合、ホルダー（共有ホルダー）を設定。
ご利用のクラウドストレージがない場合は、無償か有償のクラウドストレージを
スケジューラー側、ターミナル側に設定（インストール）してください。

※クラウドストレージ（オンラインストレージ）の説明は各社の資料などをご参照ください。

2. 構内LANでの利用の場合の設定

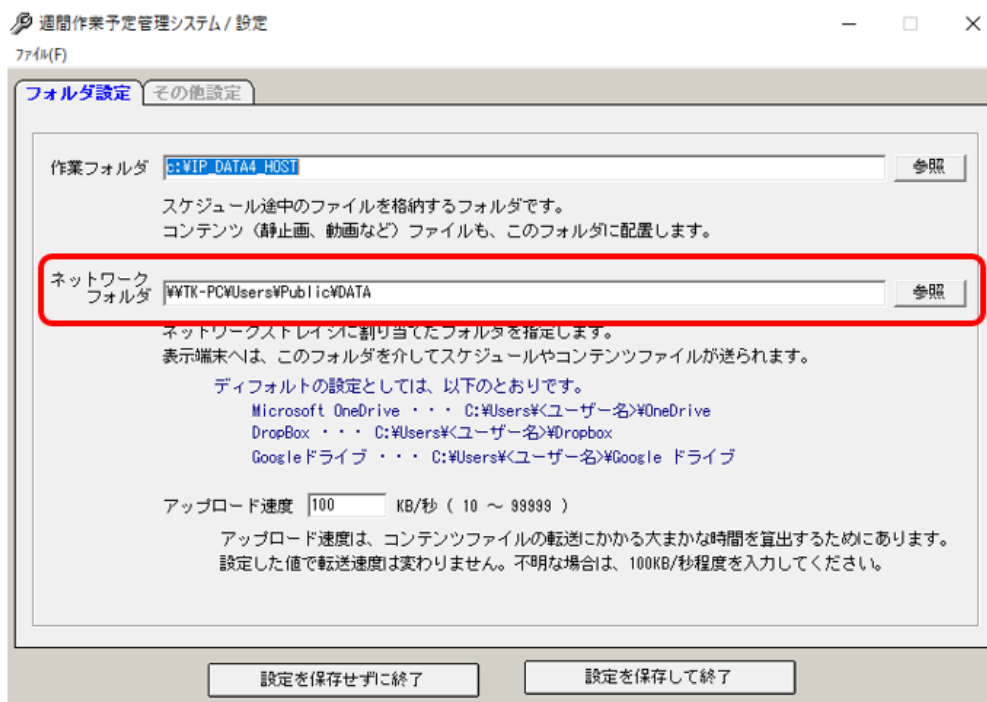
インターネットを使用しない場合など、構内（社内）LANでのご利用の場合は、ネットワーク内の共有ホルダーを設定します。

- ① NASなどのサーバーをご利用の場合は、IP_STUDIOから指定できるホルダーを設定します。
- ② NASサーバーがない場合は、ご利用のPCのホルダーを指定できます。ターミナル（サイネージ）からこのPCのホルダーを参照できるようにする設定が必要になります。
※共有ホルダー（共有ファイル）の設定はマイクロソフト社のホームページなどをご参照するか、情報システム部門の方にお問い合わせください。

3. オフライン（USB）でのご利用

ネットワークが使えない場合は、USBメモリーを利用して、コンテンツ配信ができます。
IP_STUDIOの設定 ネットワークフォルダーの設定をします。

サイネージはwindowsのメニューから、PC側はデスクトップ上の設定アイコンから設定します。



※）ホルダー名は英数半角文字です。漢字、スペース、制御文字は使えません。フォルダーを指定します。（デスクドライブのみ指定は不可）

第2章 P_STUDIOIVの全体の流れ（ステップフロー）

IP_STUDIOIVの配信設定の流れは以下の4つのステップになります。

1. オブジェクト（コンテンツ）のレイアウト、スケジュール作成（デザイナー）
2. 一日のスケジュール作成（コンテンツスケジューラ）
3. 端末（ターミナル）のスケジュール作成（ターミナルスケジューラ）
4. デジタルサイネージにアップロード（ファイル転送）



※ご利用登録

ご利用には、アイティニュースから発行されるID、パスワードの入力をIPメンテナンスからしてください。

（認証のためにネットワーク接続が必要となります）

IPメンテナンス

ファイル(F)

ターミナル設定

ファイルの関連性を検査

バージョン情報

利用登録

✓ 利用登録

利用登録／解除を行います。

ネットワークインターフェイス情報

接続名: ローカル エリア接続

説明: Intel(R) 82578DC Gigabit Network Connection

種類: Ethernet

MACアドレス:

ユーザー情報

利用登録済みです。解除するには、登録解除ボタンをクリックしてください。


ID:

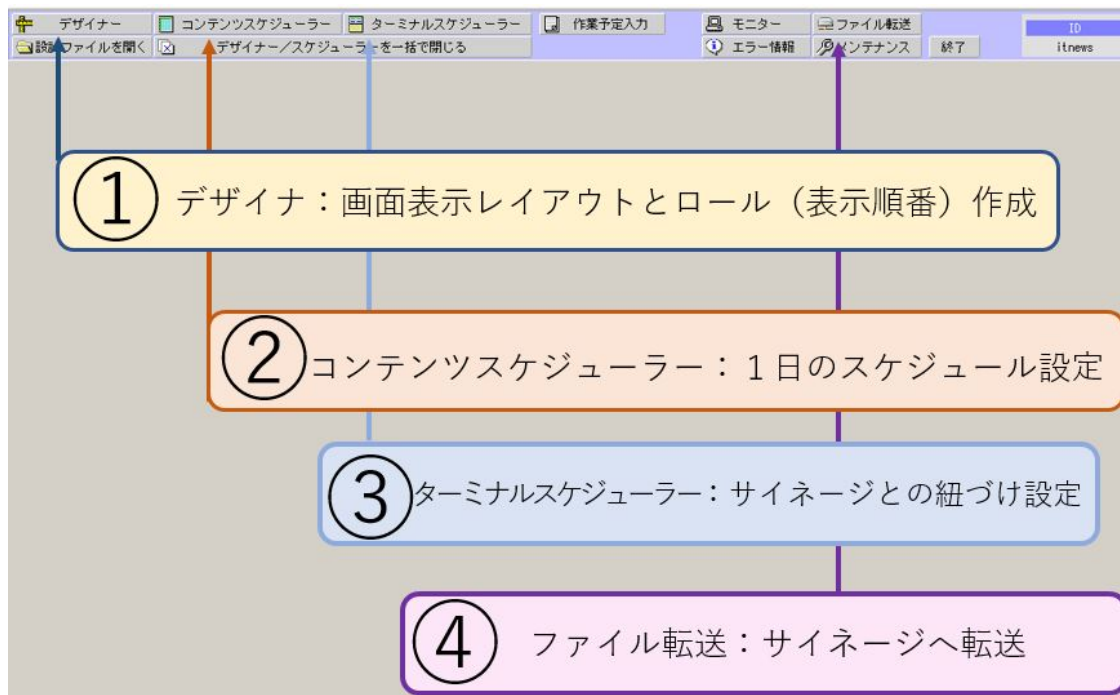
パスワード:

登録解除

閉じる

第3章 IP_STUDIOⅣ起動とボタン説明。

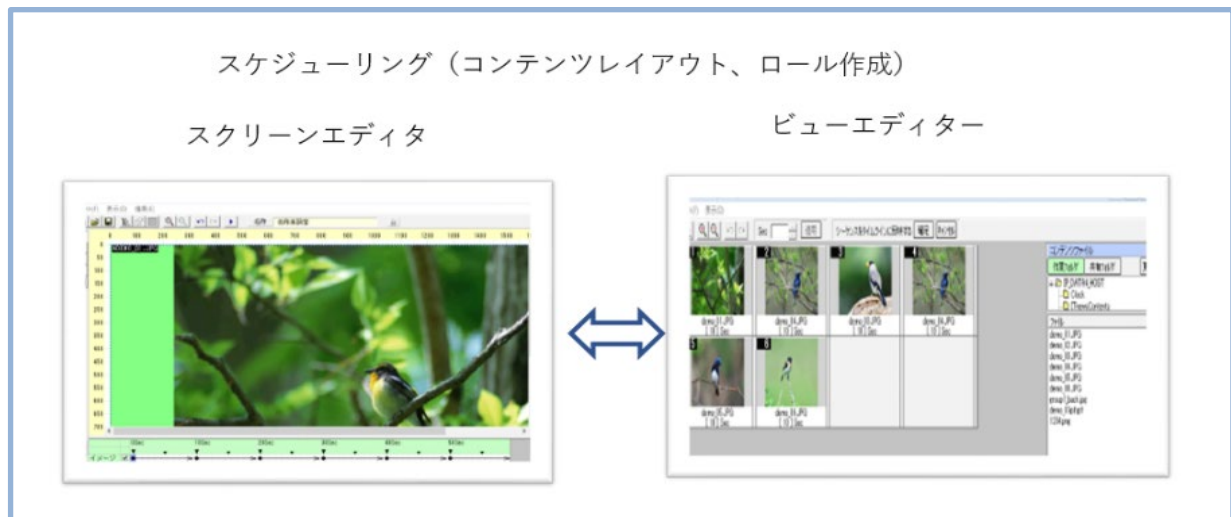
1. IP_STUDIOを立ち上げます。デスクトップ上のIP_STUDIOのアイコン  をクリックし、メイン画面を立ち上げます。



各ボタンメニューの機能につて

- ① デザイナ： 番組編成（ロール）を作成します。

番組はいくつでも作成できます。 デザイナーでの作成は2つの方法が選べます。



- ② コンテンツスケジューラー： 1日のスケジュールを設定します。スケジュールはいくつでもできます。
- ③ ターミナルスケジューラー： 営業所のスケジュールを設定します。
- ④ アップローダー： コンテンツをサーバーに転送します。

第4章 デザイナー設定 (STEP 1)

メイン画面でデザイナータブをクリックし、デザイナー画面を立ち上げます。

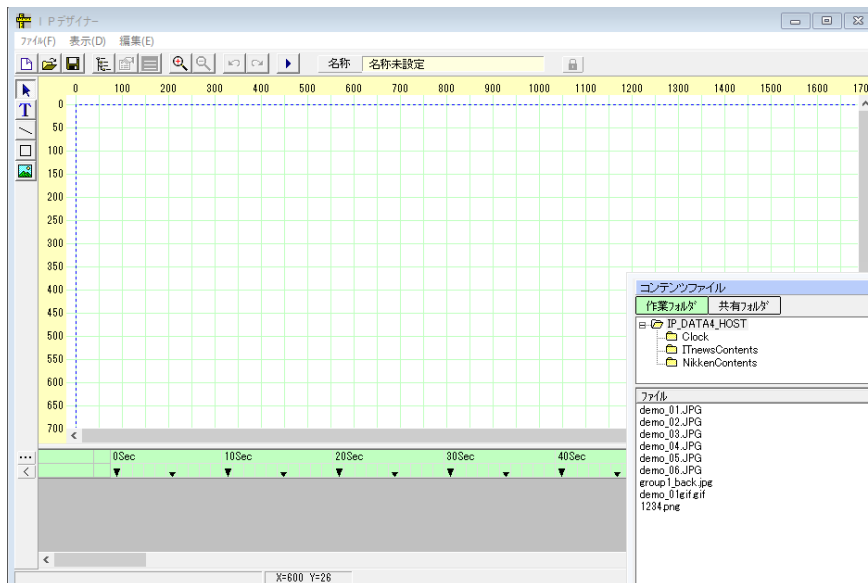
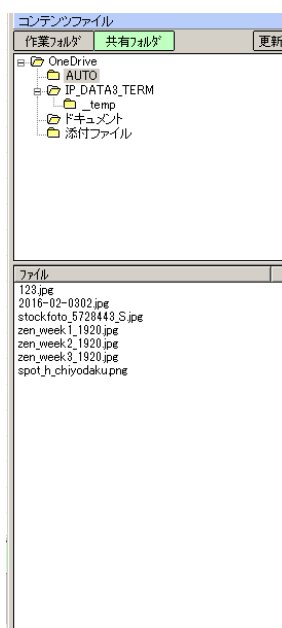


図4.1 デザイナー画面

1. コンテンツの格納はC:の【IP_DATA4_HOST】、共有ホルダはクラウドサーバー（ネットワークサーバー）上の共有ホルダー（共通で使える読み書きできるホルダ）になります。
※第1章の「サーバー設定」で設定したホルダーがここで利用できるようになります。
2. コンテンツファイルのBOXの表示は

メニューの表示>コンテンツ一覧からか  ボタンをクリックして表示させます。

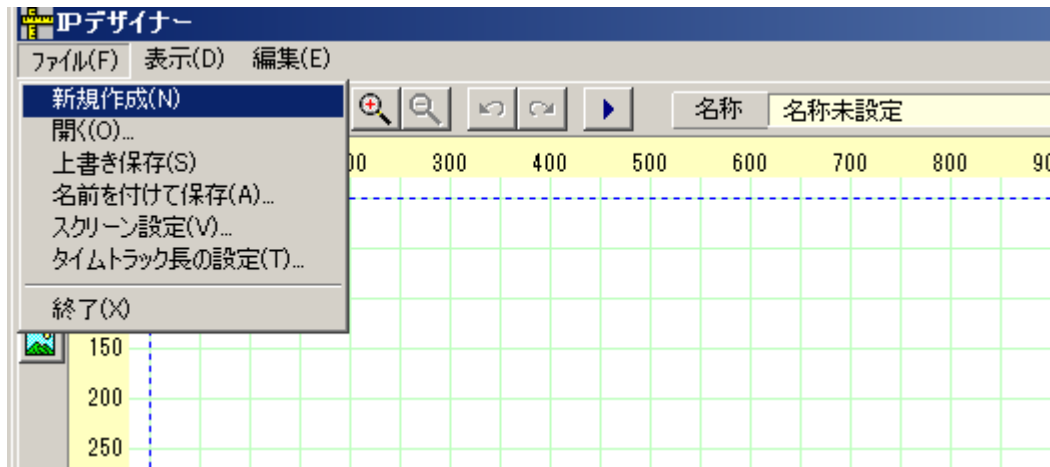


コンテンツを入れ替えた場合は、更新ボタンをクリックしてください。

4.1 デザイン設定

1. サイネージの画面のレイアウトをするに当たり、テンプレートの指定とトラック長さ（1ロールの時間）を設定します。

最初に新規作成をクリックします。



2. テンプレートの指定をします。

1. テンプレートを選擇します。

同時に、スクリーンサイズ（デジタルサイネージはデフォルト1920、1080のままで）、トラック長はロールとも呼ばれる。コンテンツの表示時間です。

例：3個のコンテンツを20秒ずつ表示するロールを作成する場合は、60秒にします。

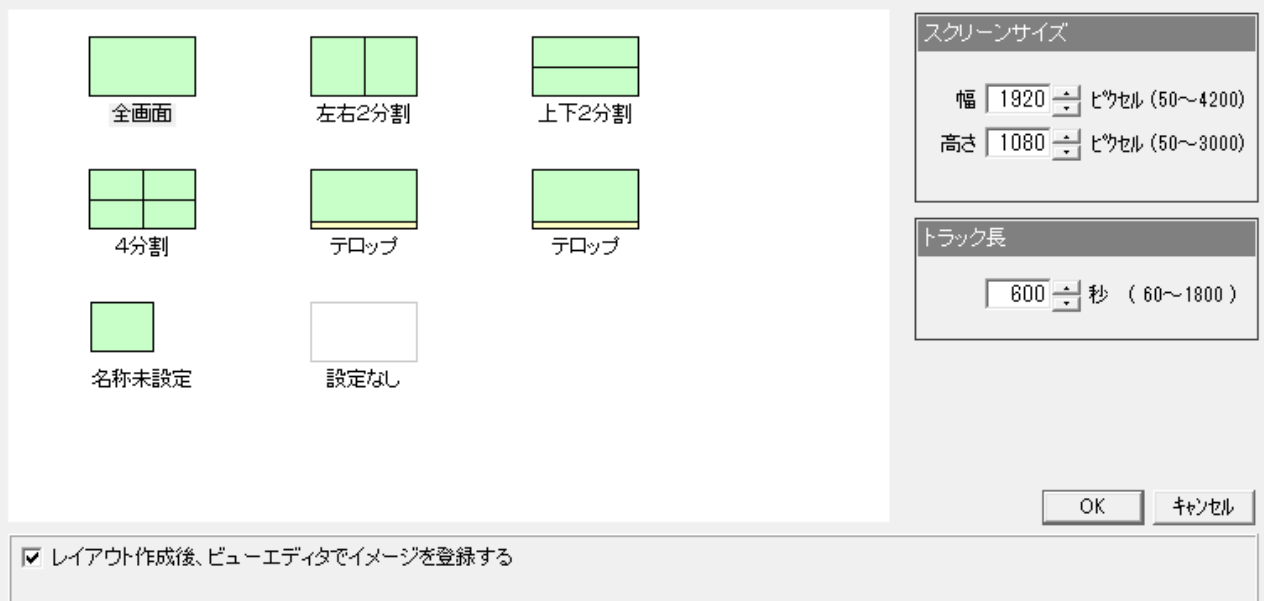
ロールは後からいくらでも変更できます。

レイアウト作成後、ビューエディターでイメージを登録するにチェックをいれると、ビューエディターが起動して、編集作業が簡単にできます。

新規作成

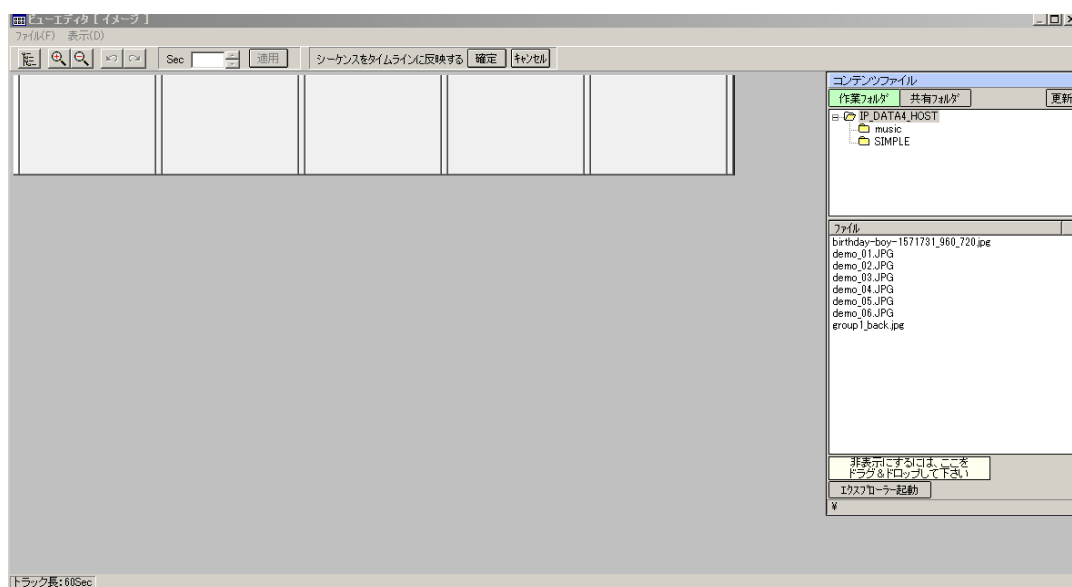
新規レイアウトを選んでください。

現在、設定されているレイアウトはクリアされますので注意してください。

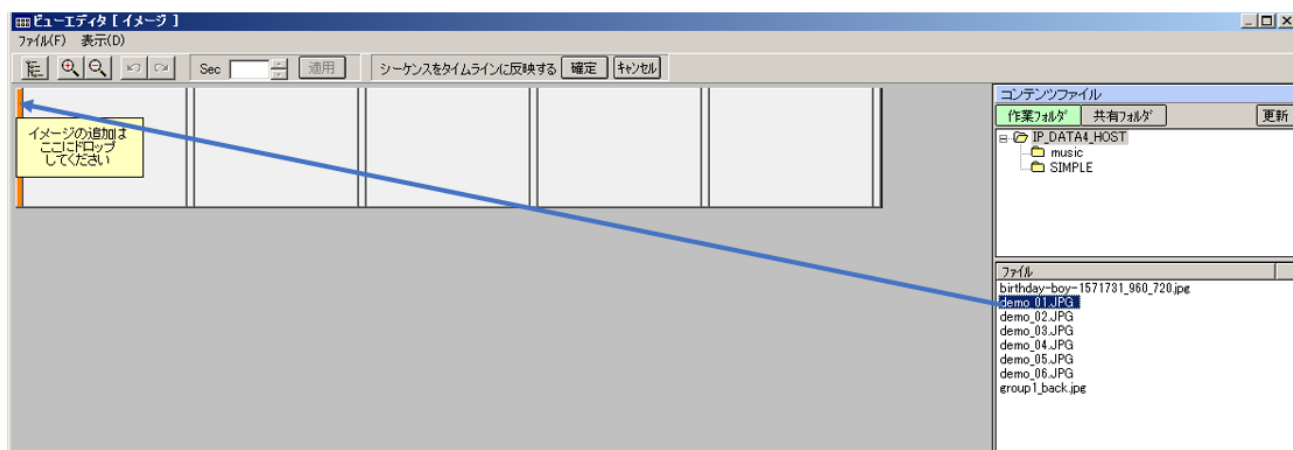


1. ビューエディターでイメージを登録するにチェックをいれた場合

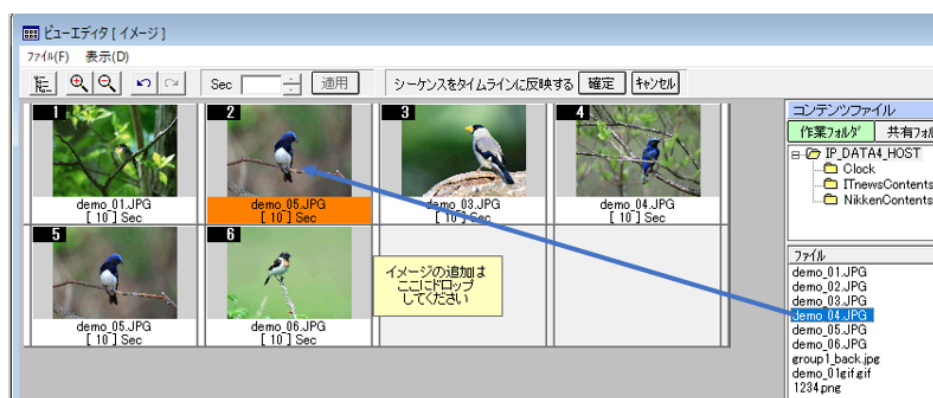
ビューエディターが起動します。コンテンツフォルダーからコンテンツをドラッグアンドドロップしてください。



挿入する場所は、オレンジのラインのところです。



上書きの場合は書き換えるコンテンツの上にドラッグアンドドロップしてください。



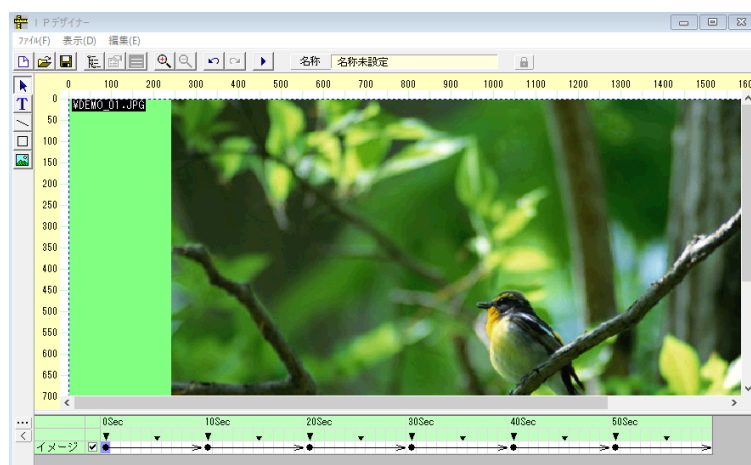
各コンテンツ表示時間を指定してください。



タイムラインで指定した時間を超えた場合は最後のコンテンツのところに時間オーバーのアラート（警報；赤字でマイナスの時間）が表示されます。各コンテンツの表示時間を短くするか、スクリーンエディタでメニューからタイムラインの時間を変更してください。




コンテンツと時間の設定が終わったら、シーケンスをタイムラインに反映する「確定」ボタンをクリックします。スクリーンエディタに戻り、レイアウトとタイムラインに時間が設定されます。



4.2 スクリーンエディタを利用したイメージオブジェクト設定

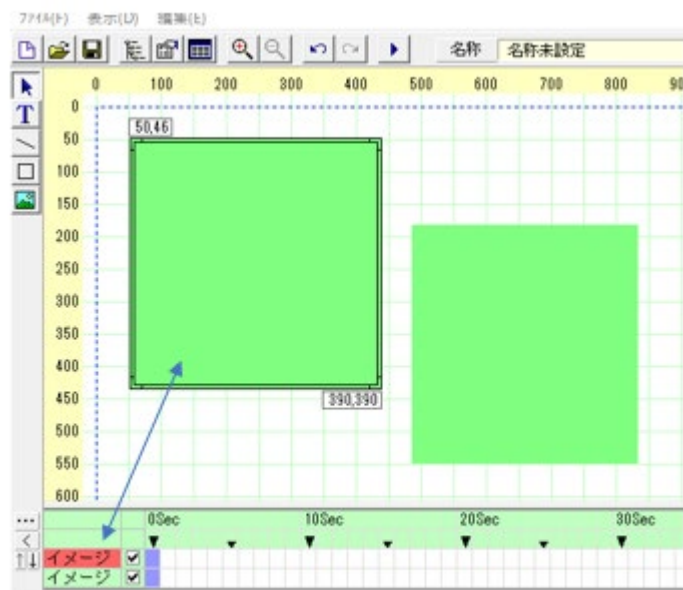
静止画・動画のレイアウト

- 1) 左側のオブジェクトリストから「イメージボタン ()」を選択し、キャンパスエリアをクリックした後、スクリーン上でマウスを左押し状態で移動すると、緑色でイメージ表示エリアが作成されます。

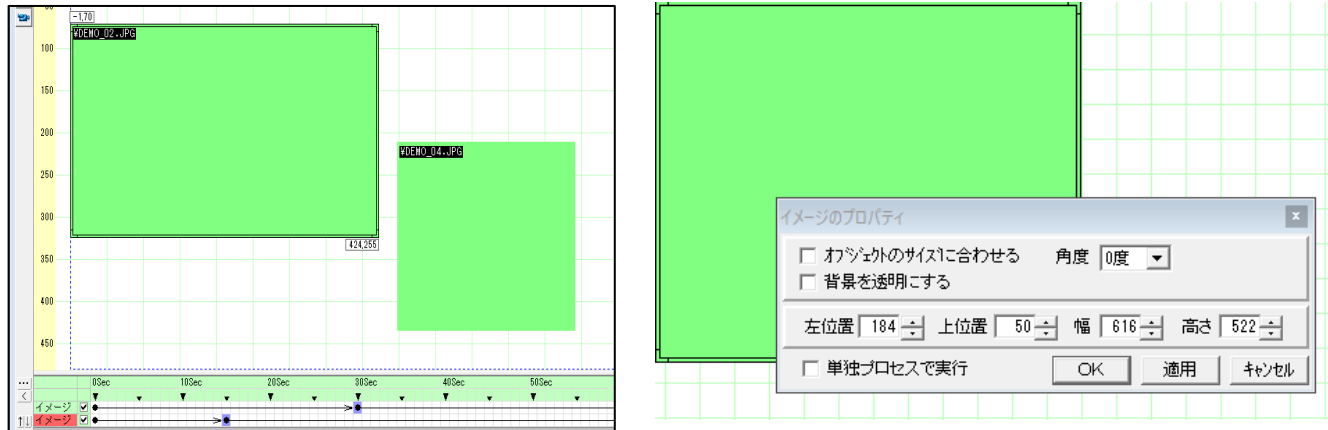
操作：任意の位置（開始位置）にマウスを移動させて左ボタンを押したままドラッグして任意の位置（終了位置）で左ボタンをリリース（離す）します。イメージを配置するBOXが生成されます。



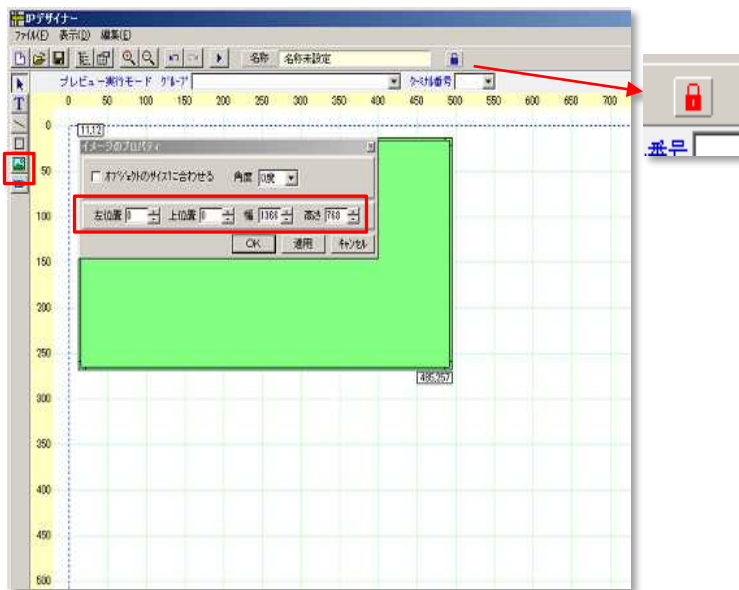
- 2) スクリーン上に複数のイメージオブジェクト（コンテンツ）を表示することもできます。手順は1) 2)と同様です。この時タイムテーブル上に複数のイメージタイムラインが生成され、選択したイメージオブジェクトは赤色になります。




3) マウスで位置とサイズを変更するか、イメージのプロパティで数値入力で変更するなどしてレイアウトします。



4) イメージの位置がずれないように固定することができます。イメージのBOXをクリックして、ロックボタンをクリックします。解除するにはもう一度ロックボタンをクリックします。

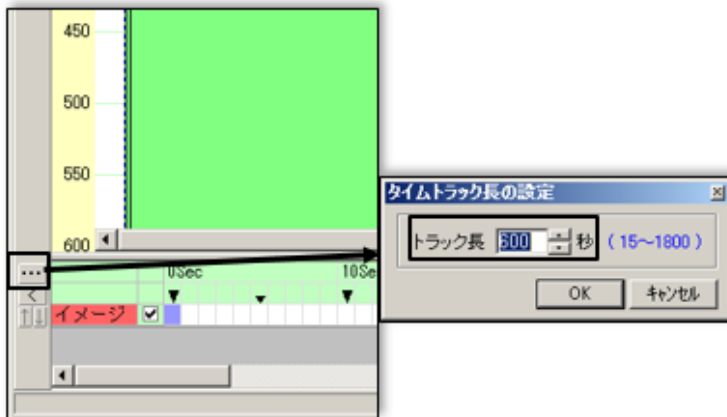



4.3 トラック長の設定

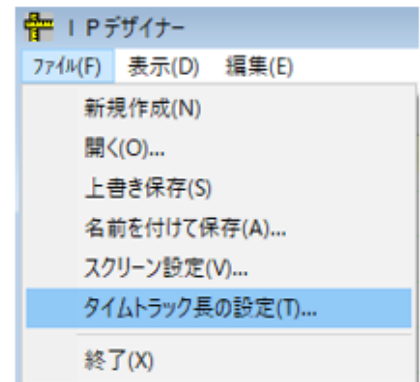
デザイナー画面の「トラック長設定」ボタン（画面左のボタン） 

を押すと「タイムトラック長の設定」画面が表示されます。編成のトータル再生秒数を入力します。

メニューからも設定できます。数値を入力後OKをクリックします。



 ボタンをクリックで設定



メニューから選択

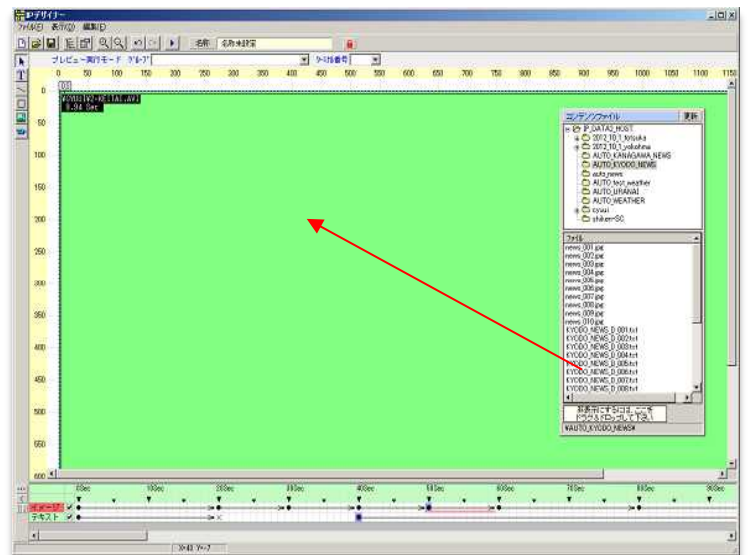
4.4 編成設定（コンテンツの配置）


1) コンテンツファイルリストからドラッグ&ドロップ

① 最初の画像・動画設定

作成したイメージオブジェクトを左クリックすると、緑色のオブジェクトが二重枠になります。同時に、タイムラインの指定イメージが赤色になり、タイムライン上にオブジェクトの現在の指定時間が紫色で表示されます。

最初は「0Sec」の場所が紫色になります。この状態で、表示したいコンテンツを「コンテンツファイル」リストからドラッグ&ドロップします。この時、表示時間はトラックの最後まで表示されることとなります。



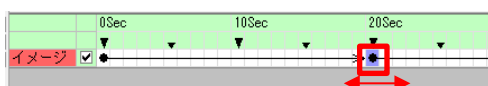
コンテンツファイルリストが出てない場合は、 をクリックします。メニューからもできます。

コンテンツ一覧

② 2つ目以降のコンテンツ設定

コンテンツ切替時間でマウスをクリックし、紫色にした後、①同様、コンテンツをドラッグ&ドロップ。

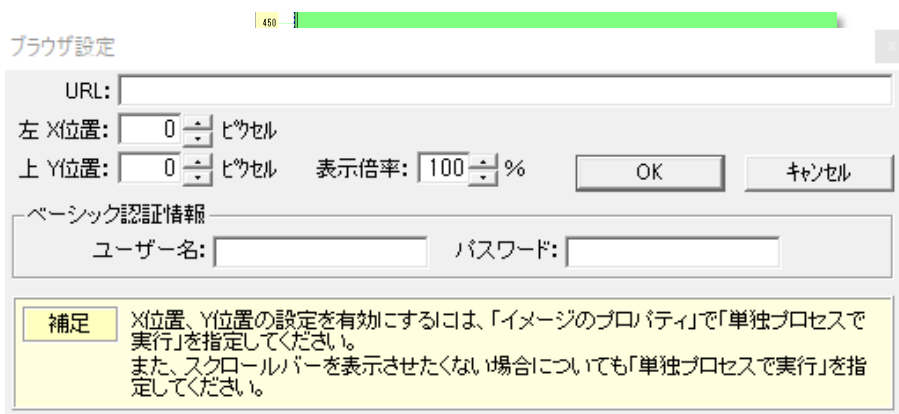
③ 再生時間調整



紫色のポイントで、マウスを左押し、左右に移動します。

④ URLの登録

イメージオブジェクト上で、マウスを右クリックし、「ブラウザ設定」を選択します。「ブラウザ設定画面」で表示するURLを登録し、開始位置を指定します。



⑤ イメージの消去

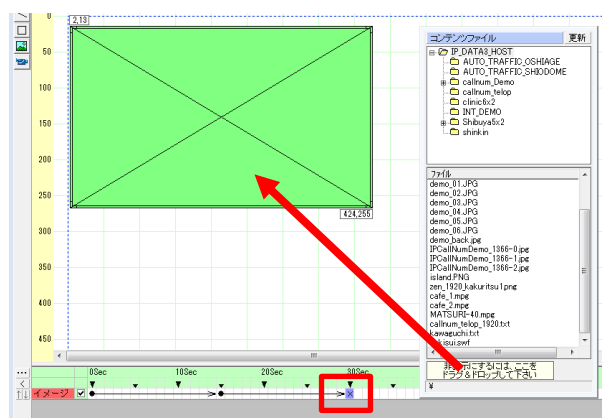
コンテンツファイル一覧の非表示設定欄を、イメージ表示エリアにドラッグ&ドロップすると、イメージ表示エリアが「×」印となり、イメージのタイムラインに反映されます。

⑥ 動画設定

静止画と同様な方法で設定します。

オブジェクトのコンテンツに動画を設定した場合、タイムラインに再生時間がピンク色のバーで表示されます。

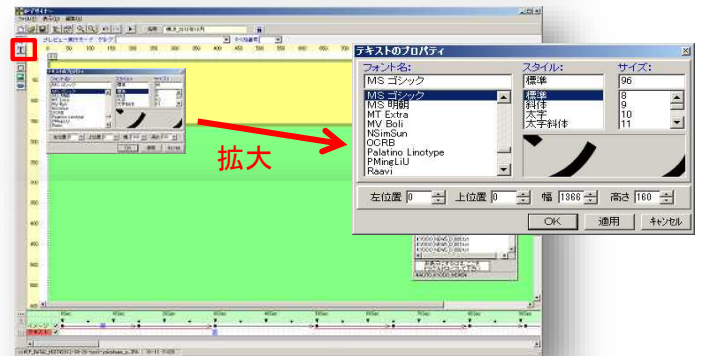
(注意：一部コンテンツでは表示されない場合があります。)



4.5 テロップ（流れる文字）「の挿入

1) テロップエリアの作成

オブジェクトから「文字入力（**T**）」を選択し、キャンパスエリアをクリックすると、「テキストのプロパティ」画面が表示されます（初期カラー 黄色）。「テキストのプロパティ」画面の設定を【左位置：0】【上位置：0】【幅：1920】【高さ：160】【サイズ：96】（例）に設定します。適用すると、テロップの表示有効エリアが黄色になります



表示エリアの移動はテキスト表示エリアにマウスを持っていき、左押し状態でも調整可能。

サイズの変更はテキスト表示エリア境界線にマウスを持っていき、左押し状態で調整します。

2) テロップのスタート

デザイナー画面のタイムライン（テキスト）で、テロップ表示のスタート位置をクリックします。



3) テロップ文字の登録

イメージコンテンツと同様、テロップで表示するテキストファイル（拡張子は .txt）をコンテンツファイル一覧から、テロップ表示エリアにドラッグ&ドロップします。ドラッグ&ドロップするとテキストエリアに文字が表示されます。

4) テロップの表示設定

テロップ表示エリアで右クリックし、「表示設定」を選択すると『表示設定』画面が表示されます。「表示設定」画面の設定を【文字の動き：スクロール】【速度：100】【移動量：6】【方向：右→左】に設定します。



5) テロップの終了

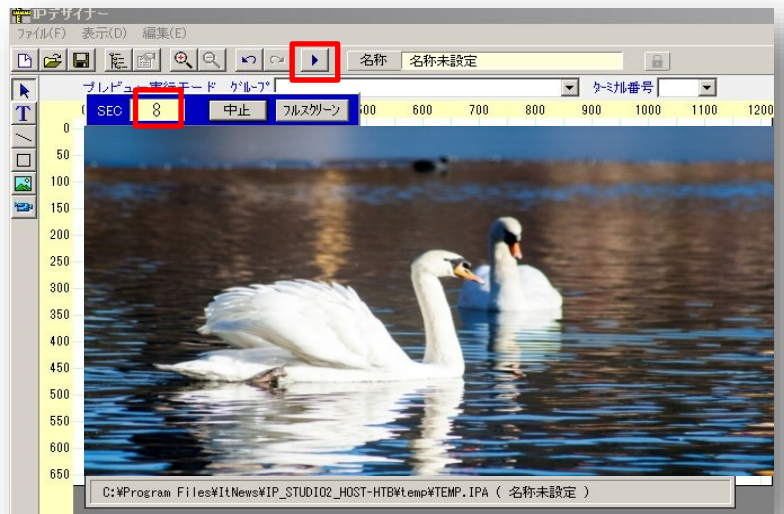
イメージの終了と同様な方法で行います。

4.6. デザイナーのプレビュー

作成したスケジュールデータのプレビューができます。

操作コマンドの「プレビュー (▶)」ボタンを押すとプレビュー画面が起動し、登録した内容の確認ができます。

プレビュー画面には秒数が表示され、切り替わりタイミングの確認ができます。



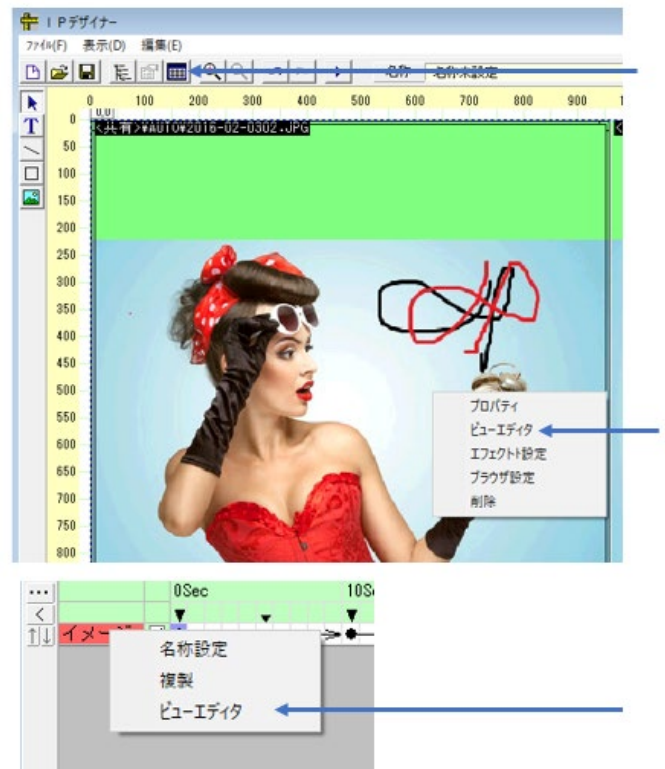
4.7 スクリーンエディターから「ビューエディタ」の起動。

ビューエディターは①メニューアイコン、②オブジェクトの上でのマウスの右

クリック、③タイムラインのイメージの赤い表示の右ボタンで起動できます。

オブジェクト (コンテンツ) を選んでからボタンをクリックします。

ビューエディターとスクリーンエディターを使い分けて、効率のいいスケジュールリングを作成してください。



4.8 デザイナーの保存

デザイナー画面の「ファイル (F)」タブから、作成したスケジュールデータを保存します。保存されたデータファイルの拡張子は「.IPA」となります。

第5章 コンテンツ スケジューラ 1日の放映スケジュールの作成 (STEP2)

5.1 サービス時刻の設定

コンテンツスケジューラ画面の「サービス時刻」ボタンを押すと、「サービス時刻設定」画面が表示されます。ご利用の環境に合わせてサービス時刻の設定を【開始時刻：0時0分】【終了時刻：24時0分】（例）に変更します。

5.2 ターミナル電源設定

ご利用の環境に合わせてターミナル電源操作の設定、「なし」「再起動」「シャットダウン」ができます。

5.3 ターミナルボリューム設定

時間帯別に各ターミナルの音量を設定できます。
時間項目の右横にある「VOL」をクリックし、「0」～「100」の間でレベル設定します。

5.4 一日の番組編成 (コンテンツスケジューラ) の設定

1) 「デザイナーファイル一覧」から、スケジュール登録するデザイナーデータ (番組編成) を開始時刻位置にドラッグ&ドロップします。設定すると自動で繰り返し放映の設定がされます。

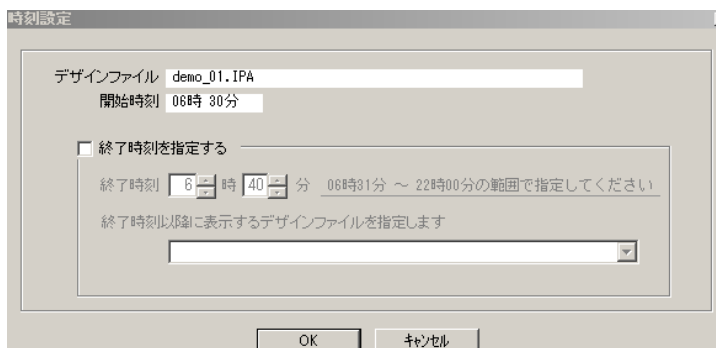
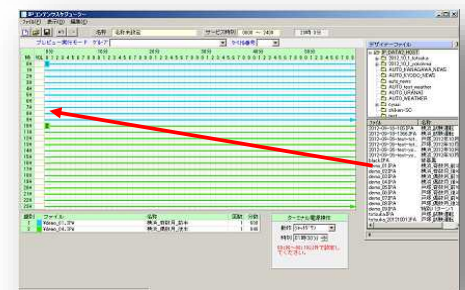
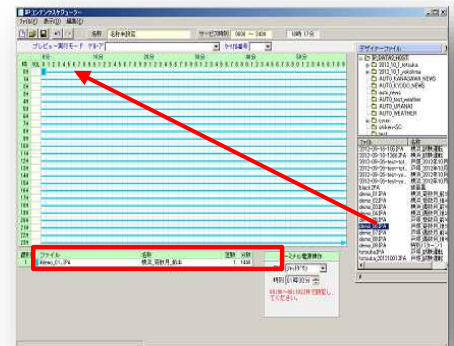
設定したデータ情報は「スケジュール一覧」に表示されます。

- 2) 指定時刻から番組編成を変更する場合は、別のデザイナーデータを次の開始時刻位置にドラッグ&ドロップします。
- 3) 追加されたデザイナーは別の識別カラーで表示されます。
- 4) コンテンツスケジューラの保存

コンテンツスケジューラ画面の「ファイル (F)」操作から、作成した1日の放映スケジュールデータを保存します。

拡張子は「.IPB」となります。

5) 表示時間指定 (終了時間) の設定が可能です。



第6章 ターミナルスケジューラ設定 (STEP3)

(デジタルサイネージのへの個別スケジュール設定)

6.1 事前設定 (メンテナンスで配信グループ設定)

個別スケジュール設定をするに当たり、事前に配信グループの登録を終えておいてください。配信グループの登録方法については、「配信グループ・ターミナル登録」を参照してください。サイネージが1台の場合は必要ありません。

配信グループ指定

グループ選択から

グループ選択 1 2 3 4 5

配信するグループの番号をクリックします。

6.2 スケジュール設定

ターミナルスケジューラ画面の「コンテンツスケジュールファイル」から、スケジュール登録するファイルを選択し、通常スケジュール欄にドラッグ&ドロップします。

曜日指定がある場合は、「曜日指定」欄の指定曜日にファイルをドラッグ&ドロップします。
日付指定がある場合は、「日付指定」欄の指定日にファイルをドラッグ&ドロップします。

「通常スケジュール」「曜日指定」「日付指定」にコンテンツスケジュールファイルをドラッグ&ドロップで設定してください。

コンテンツスケジュールファイル

ファイル	名称
demo_01IPB	名称未設定
xroute1PB	作業予定表示
コンテンツ001IPB	名称未設定
コンテンツABCL	名称未設定

(補足)

スケジュールの優先順位は

1. 日付
2. 曜日
3. 通常スケジュール

となります。

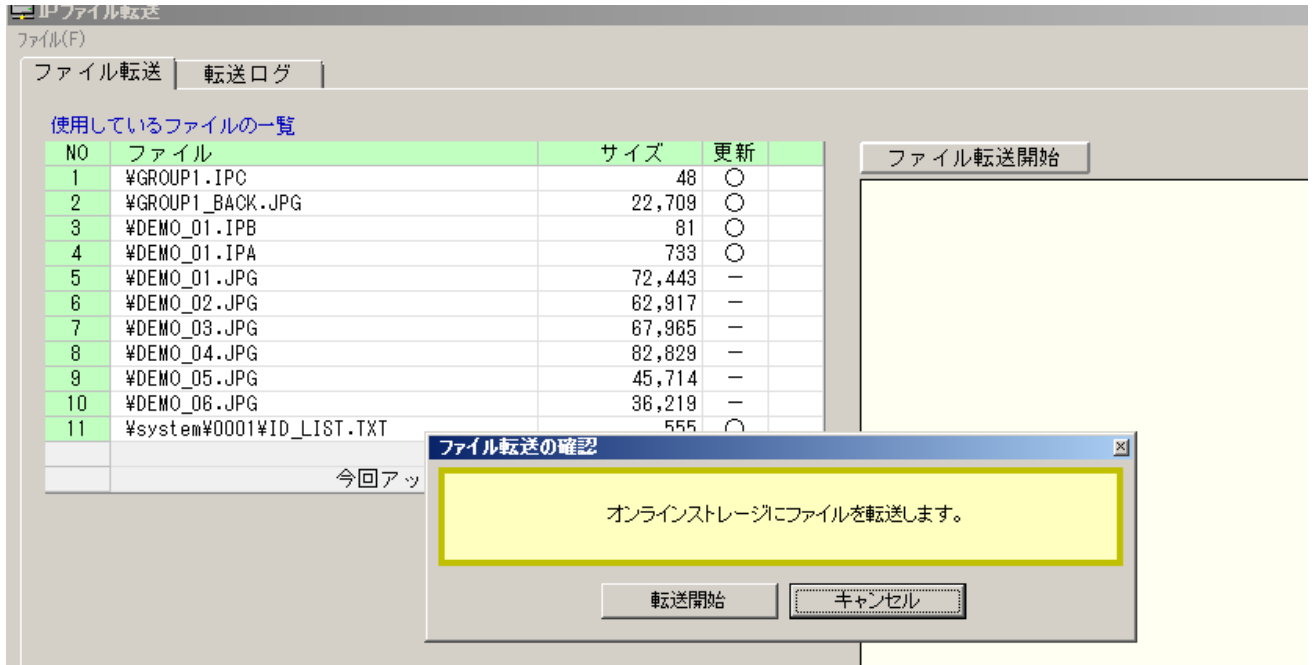
6.3 ターミナル スケジューラの保存

ターミナルスケジューラではデータを保存作業が不要です。ドラッグアンドドロップした時点で保存が完了しています。

第7章 ファイルの転送 (STEP4)

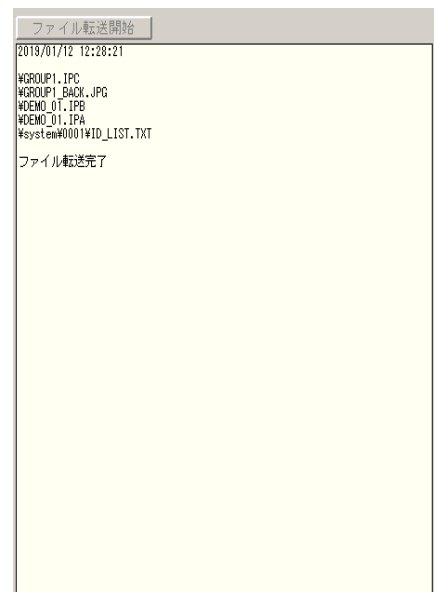
1) ファイル転送ボタン

ファイルの転送開始ボタンをクリックすると転送を開始します。



2) 転送終了

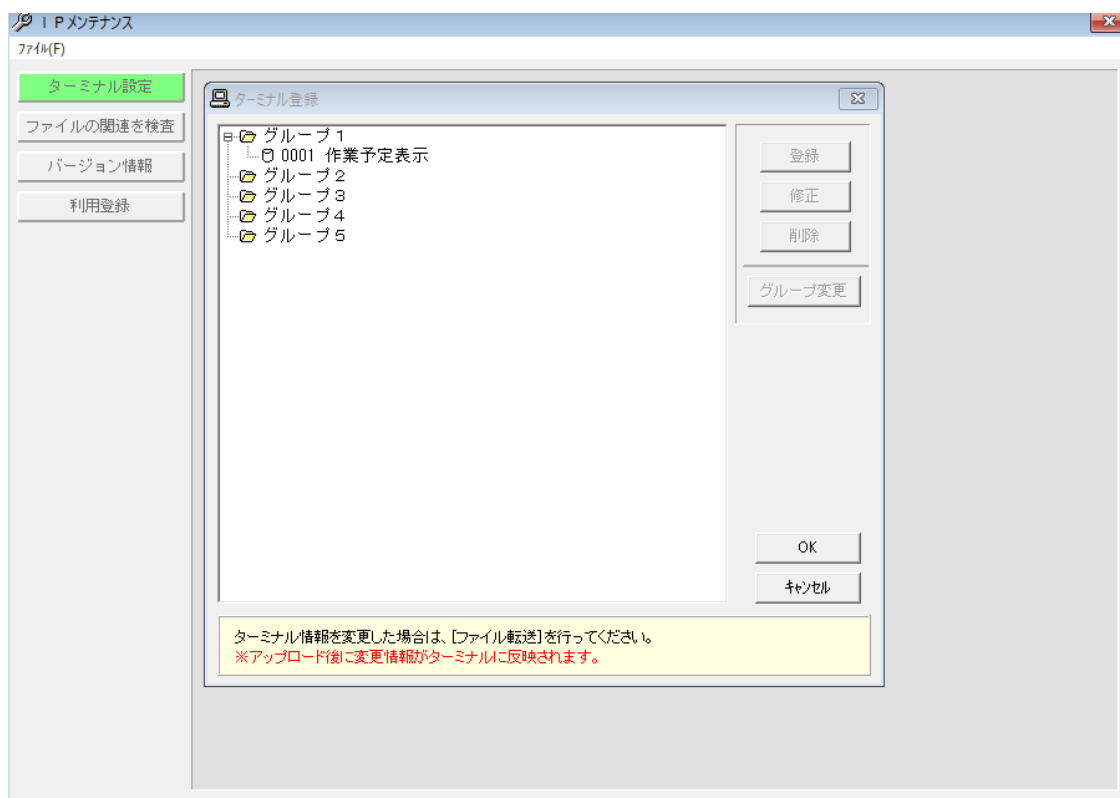
ファイル転送完了が表示されます。



第8章 配信グループ・ターミナル登録

配信グループ、及びターミナルの登録をする場合、IP_STUDIOのメイン画面から、メインメニューの「メンテナンス」ボタンをクリックし、「IPメンテナンス」画面を開きます。

- 1) 「ターミナル登録」ボタンをクリックし、「ターミナル登録」画面を開きます。
 - 2) グループの登録
 - グループ項目の「登録」を押します。
 - 「グループ設定」画面で「グループID」「グループ名」を入力します。
 - グループIDは半角英語数字となります。
 - グループ名は日本語でも構いません。
 - 記入後、OKボタンを押して、登録完了です。
 - 3) ターミナルの登録
 - ターミナルを追加したいグループを指定後、ターミナル項目の「登録」を押します。
 - 「ターミナル設定」画面でターミナル番号とターミナル名を記入します。
- ※ グループ名を確認してください。
※ ターミナル番号は重複できません。
- 4) グループ、ターミナルの登録完了後、「ターミナル登録」画面でOKボタンを押し、完了です。



登録できる、グループは5つまでです。（5グループへ別々のスケジューリングができます）

第9章 番組編成の変更・修正

現在、放映中の番組編成の変更・修正を行う場合、既存のデータを読み出して更新（変更・修正）することができます。

9.1 デザイナー・コンテンツスケジューラ・ターミナルスケジューラの選択

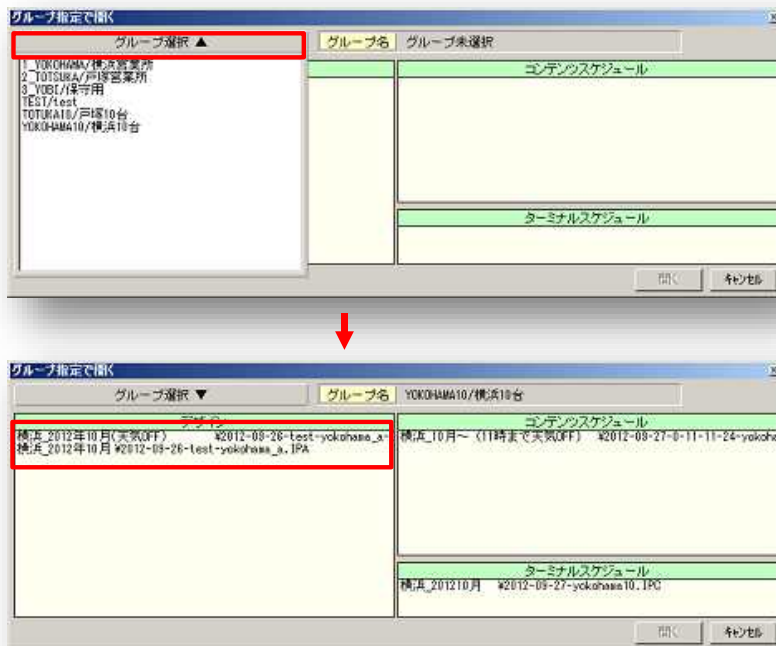
メイン画面の「グループ指定で開く」タブを押すと「グループ指定で開く」画面が表示されます。

グループ選択を押し、データ更新（変更・修正など）するグループを選択すると「デザイン」「コンテンツスケジューラ」「ターミナルスケジューラ」欄に使用しているファイルが表示されます。

番組編成の修正を行う場合は「デザイン」を選択すると、デザイナー画面が表示されます。

1日のスケジュールを変更したい場合は「コンテンツスケジューラ」のファイルを選択します。

ターミナルのスケジュールを変更したい場合は「ターミナルスケジューラ」のファイルを選択します。



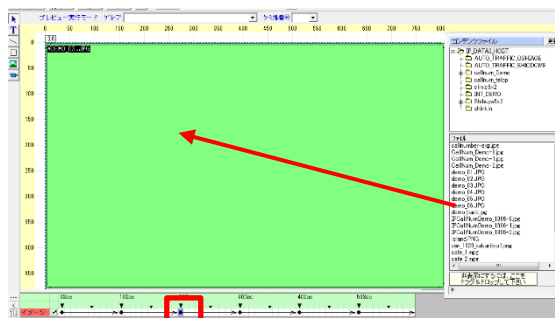
9.2 コンテンツの入れ替え

1) コンテンツファイルからドラッグ&ドロップ

入れ替えたいコンテンツのイメージオブジェクトをクリックし、アクティブにします。この時タイムラインの「イメージ」文字の背景が赤色になります。

変更したいコンテンツの時間をクリックすると、紫色になります。

入替えたいコンテンツをコンテンツリストからイメージオブジェクトエリアにドラッグ&ドロップします。



第10章 端末監視機能

「メイン画面」から「モニター」タブをクリックし、「IPモニター」画面を立ち上げます。

- 1) 稼働ログは「手動」「自動」があります。
「手動」を設定した場合、「稼働情報取得」をクリックすれば、稼働情報がダウンロードされます。

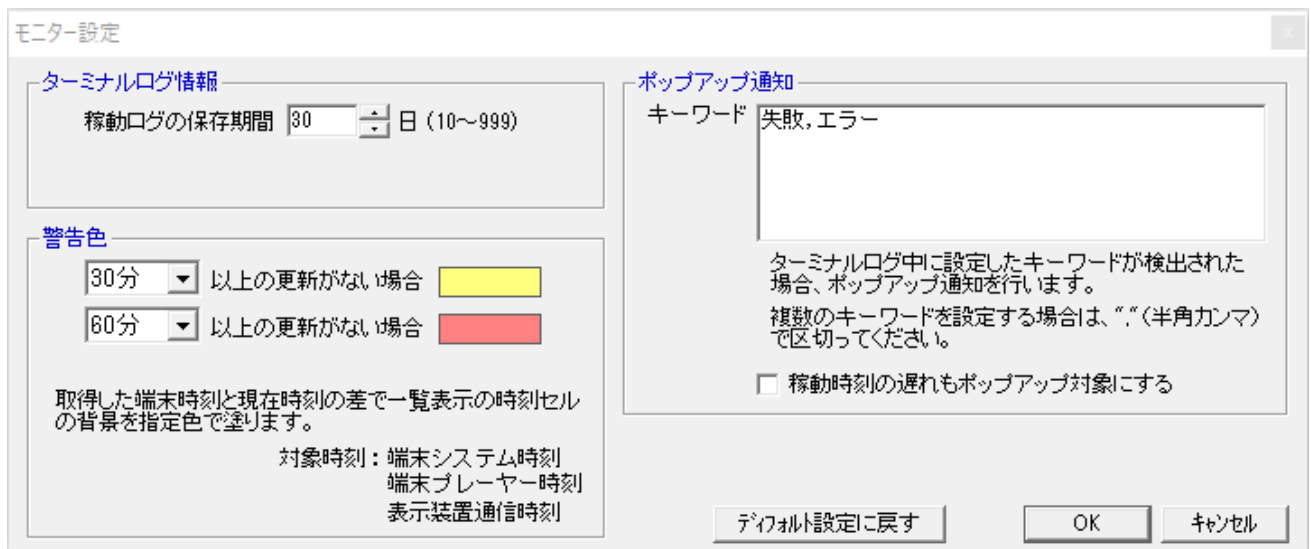


The screenshot shows the 'IPモニター' application window with the 'ターミナル一覧' (Terminal List) tab selected. A table displays terminal information with the following columns: Terminal ID, Terminal Name, System Time, Player Time, Manager Start Time, Logout Time, Display Mode, Display Device Communication Time, Power, Temperature, and Fan. The first row shows '0001' for the terminal ID and 'グループ1 作業予定表示' for the terminal name.

ターミナル番号	ターミナル名	システム時刻	プレーヤ時刻	マネージャ起動時刻	ログアウト時刻	表示モード	表示装置通信時刻	電源	温度	ファン
0001	グループ1 作業予定表示									

- 2) 「ターミナル一覧」にグループ名と、モニターの番号が表示されます。
稼働中の場合は白背景の表示となります。

一定時間稼働情報が入手できない場合、ターミナル番号の背景が、「黄色」そして「赤色」に変化します。



The 'モニター設定' (Monitor Settings) dialog box is shown. It has two main sections: 'ターミナルログ情報' (Terminal Log Information) and 'ポップアップ通知' (Pop-up Notification). The 'ターミナルログ情報' section includes a '稼働ログの保存期間' (Log retention period) set to 30 days. The '警告色' (Warning color) section has two options: '30分 以上の更新がない場合' (Yellow) and '60分 以上の更新がない場合' (Red). The 'ポップアップ通知' section has a 'キーワード' (Keyword) field containing '失敗, エラー' (Failure, Error) and a checkbox for '稼働時刻の遅れもポップアップ対象にする' (Also pop-up for delay in operation time), which is currently unchecked. There are buttons for 'デフォルト設定に戻す' (Reset to default settings), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

設定は、「ファイル (F)」>「モニターの設定」で行います。

- 3) 「ターミナルログ」で、ターミナルを選択すれば、過去の稼働情報が確認できます。

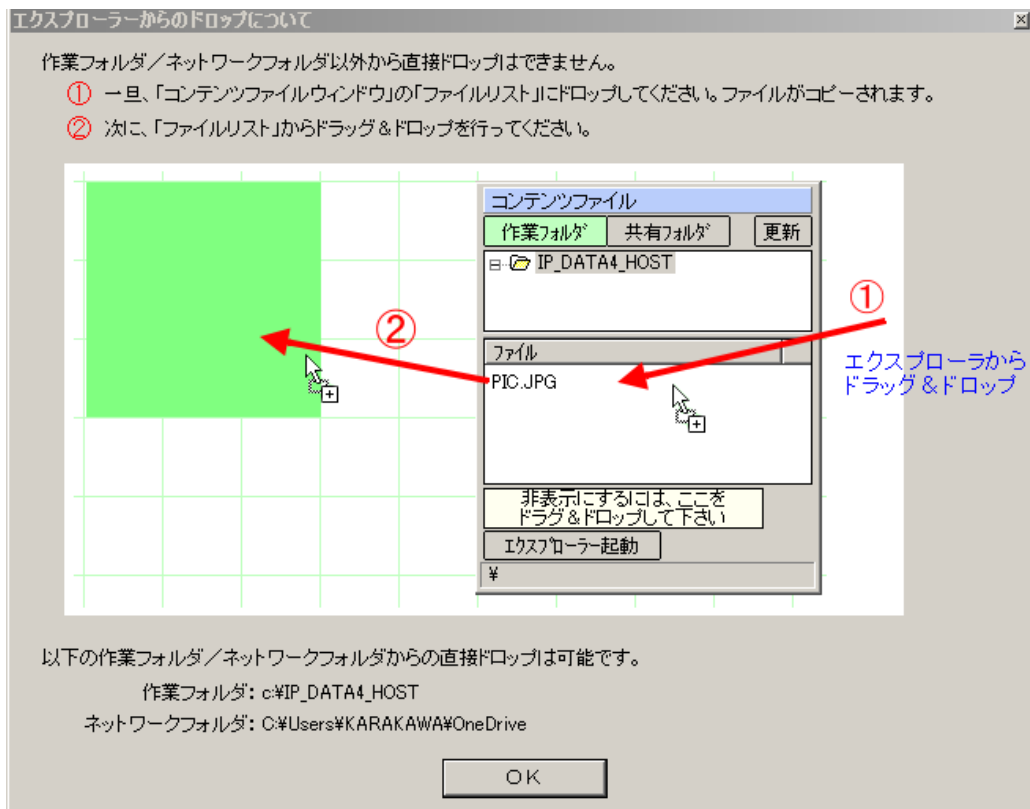
第11章 コンテンツの格納（保存）場所

1. コンテンツ格納場所

ご利用のコンテンツはネットワークホルダー上であれば、共有が簡単にできます。

書き換え権限については、ご利用方法に各社のポリシーに合わせてください。

IP_STUDIO上では、以下のように、ネットワークホルダーかIP_STUDIO のDATAホルダーに格納してご利用ください。（C : IP_DATA4_HOST）



2. 利用できるコンテンツは

静止画：JPEG、PNG、GIF、PDF

デザイナーのステップで設定されるイメージオブジェクトのサイズに合わせて、コンテンツを作成します。

- FullHD画面全体に表示する場合は、横1920pix, 縦1080pixとなります。
- IP_STUDIOにはオブジェクトに自動的に画像ファイルを合わせる機能があります。

動画は：MPEG2、WMV、AVI、MPEG 4、SWF

※ PowerPointの場合、wmv動画で出力し、動画として使用してください。

3. テキスト： テロップ表示用の文章を作成

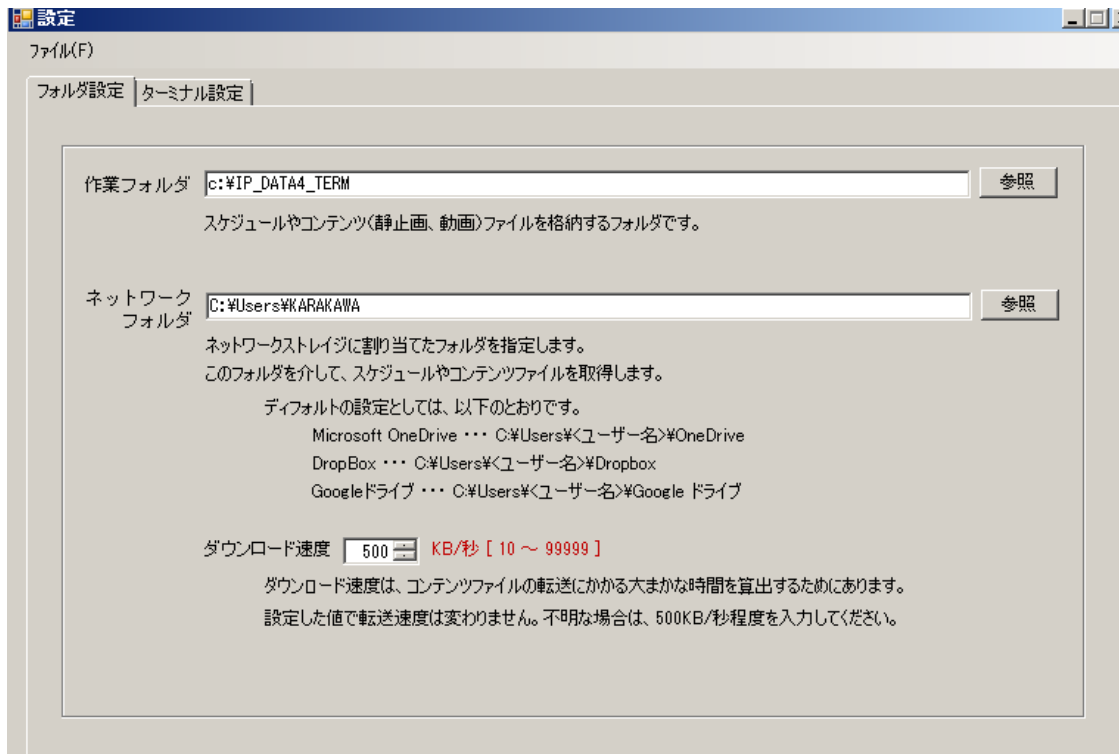
- 文章は1行です。

第12章 デジタルサイネージの設定

デジタルサイネージのホルダー設定 ネットワークフォルダーの設定をします

ご利用のクラウドストレージがある場合、ホルダー（共有ホルダー）を設定。

ご利用のクラウドストレージがない場合は、無償か有償のクラウドストレージをターミナル側に設定（インストール）してください。



ご利用のクラウドストレージがない場合は、無償か有償のクラウドストレージをターミナル側に設定（インストール）してください。

第13章 日時の表示について

○日時はテキスト入力用の「**T**」をクリックして、日付・時刻設定ボタンをクリックします。

表示設定

表示設定

文字の動き なし

方向 -

速度 100 50 ~ 500

ウェイト 20 10 ~ 50

文字色

背景色

位置

影

なし 色

オフセット 4 1~20

ぼかし 10 1~20

表示文字:

日付・時刻設定 OK キャンセル

○書式を入力するか設定例から選択してOKをクリックしてください。

日付・時刻設定

以下の日時書式で指定します。

日時書式

yyyy: 西暦年	HH: 時(00~23)	H: 時(0~23)
MM: 月(01~12)	M: 月(1~12)	mm: 分(00~59)
dd: 日(01~31)	d: 日(1~31)	m: 分(0~59)
	ss: 秒(00~59)	s: 秒(0~59)
	tt: 午前/午後	
	hh: 時(01~12)	h: 時(1~12)

設定例から選択

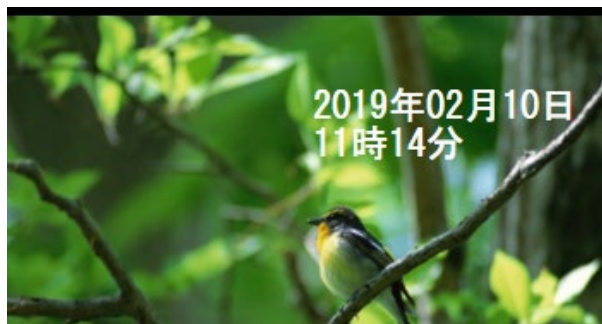
yyyy/MM/dd HH:mm HH:mm

yyyy年MM月dd日 HH時mm分 HH時mm分

先頭に“##”を付けて、日時書式文字を入力します。

OK キャンセル

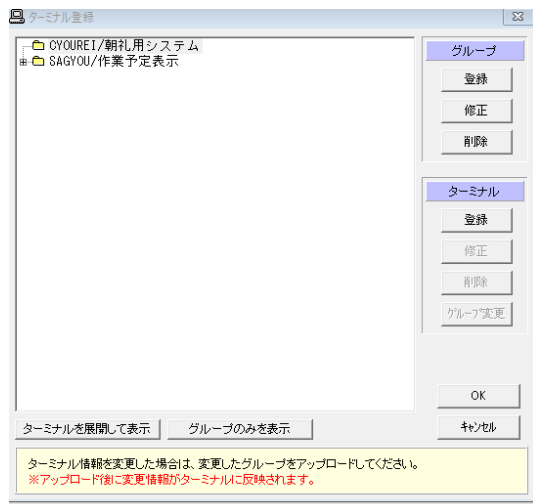
○任意の位置に表示できます。背景を透明にするには文字のプロパティで背景を透明にするにチェックを入れます。



第14章 デジタルサイネージが複数台の設定

14-1. PC側のIP_STUDIO のメンテナンスのターミナル登録をします。

(第8章ご参照)



14-2. デジタルサイネージ（表示ターミナル）の端末番号の設定をします。

IP_STUDIO プレーヤーの端末番号（ターミナル番号）をそれぞれ設定します。

設定方法は、以下ようになります。

1. Windows の IP_STUDIO4_TERM ホルダーのなかにある、「IPTERM_NO.INI」の番号を書き換えます。
2. 初期値は下記のようにになっています。

[TERM]

TERM_NO=1

これを、追加するデジタルサイネージにそれぞれ

TERM_NO=2 、TERM_NO=3 と書き換え上書きします。

○INI ファイルの書き換えはメモ帳を利用すると便利です。

第15章 Q&A

Q1. テンプレートの登録はできますか？

A1. できます。C:\¥Users¥ユーザ¥AppData¥Local¥ip_studio4¥template
に登録できます。

Q2. 1画面に表示できるコンテンツの制限はありますか？

A2. あります。50コンテンツです。

Q3. コンテンツの配信時間はどのくらいですか？

A3. クラウドストレージ（オンラインストレージ）の性能によりますが、早ければ約10秒で
転送されます。

Q4. 利用できるコンテンツの数の制限はありますか？

A4. ありません。

Q5. 利用できるコンテンツの容量の制限はありますか？

A5. IP_STUDIO はありません。ただ、クラウドストレージで制限をしている場合があります。
仕様などご確認ください。

Q6. クラウドストレージのセキュリティは？

A6. 各社の仕様などをご参照ください。